

## 27B 日帰り旅行サークル 〈平成29年の活動〉

【平成29年11月7日】くれよんバスツアー

幹事：第4班（秋山班長）

◆秋の味覚「松茸&信州リンゴW食べ放題」の日帰り旅行へ行ってきましたよ♥

日帰り旅行サークルでは、平成29年11月7日（火）  
参加者14名（女性7名、男性7名）でくれよんの  
妙高・長野（中野・須坂）方面「松茸&信州リンゴ  
W食べ放題」ツアーに参加しました。V(-)V



### 〈行程〉

新発田(営)6:40-新潟 BC(8:00)-新潟駅南口(8:15)-巻潟東・  
燕三条駅=<北陸道>=いもり池(散策)=中野(松茸すき  
焼きと松茸含むキノコ三種焼き食べ放題のご昼食)-臥龍  
公園(須坂の紅葉スポット見学)-中野(りんご狩り園内食べ  
放題・ショッピング)=<北陸道>=各乗車地(18:55~)

### 【旅のお楽しみ】

- ♥松茸すき焼き、焼ききのこ（松茸・しめじ・舞茸）、松茸ご飯食べ放題！
- ♥『さくら名所100選』に選ばれている須坂の紅葉スポット臥龍公園を見学！
- ♥長野県生まれの“しなのりんご3兄弟”と呼ばれるオリジナルりんごの食べ放題りんご狩り！

11月7日 旅行当日は、晴れの21度/8度と、さわやかな旅行日和。新潟交通新発田営業所で、参加者2名を乗せ、AM6:40にスタートしたくれよんバスは、途中、新潟バスセンターで3名、新潟駅南口で8名、最後に巻潟東から1名が乗り込み、我々グループ総勢14名が乗ったバスは、いざ、妙高・長野方面を目指し<北陸道>を快適に走りました。(^\_^)~

車中ではガイドさんの案内開始と同時に、お菓子袋を開封するガサガサ音が、これから始まる楽しいバス旅行の開始音となりました。ガサガサは、これからお菓子が振る舞われるとの期待感が高まる音でもあり、ガイドさんの緊張感を和らげたのか、ガイドも滑らかに最初の観光地 妙高高原「いもり池」に到着。

【妙高山といもり池をバックに善男善女14名の集合写真(あれっ、一人居ない!?)】



### 【妙高山といもり池】

妙高高原池の平温泉にある周囲 500m ほどのいもり池は、昔はいもりが多く生息していたことからこの名がついたと言われ妙高を代表する観光スポットです。

池越しに望む妙高山（標高 2,454m）はまさに絶景で、イタヤカエデやシラカバの黄色を基調にヤマモミジの赤とのコントラストが美しい。紅葉の妙高山を眺めながら、また妙高山を水面にくっきり映し出すいもり池の景色は絶景そのもの！池を一周する遊歩道は整備されており、15分かけて一周してみました。池自体はそう大きくないので、息抜きのちょい散歩にはほど良い。池の周りに蕎麦屋、喫茶店、標本をおいてある建物があり、足湯もあります。

秋晴れの下、この素晴らしい景色を思う存分楽しめたので、ここまで来てよかったです。

### 【いもり池到着前に、『楓と紅葉の違いが分かりますか？』と車中でのガイドさんの質問】

ガイドさん自身が寝押しして作った楓と紅葉の押し花を見せながら説明。

この説明を聞いてからは、楓探しで落葉に目が行ってしまふ。いもり池周辺では、紅葉は多いが、楓がなかなか見つからない。柔らかな秋の陽射しを浴びながら、国立公園の地面を睨み、楓か紅葉か判断の付かない葉を手に持ち、ガイドさんにみてもらおうと景色は二次の散策。

散策後は、昼食会場へと運んでくれるバスに乗り込む（これだからバスの旅は止められない）。お昼のメニューは「松茸すき焼き、焼ききのこ（松茸・しめじ・舞茸）、松茸ご飯食べ放題」などガイドさんより食べ放題のルール説明があった。

### 【ランチ会場】（信州馬さしの里「ビアンデ信州中野店」）

お店の道路側の入り口には、大きな牛とブタの像が目印に。豚肉などお肉の卸業者が経営しているドライブインのようだが、お菓子など信州土産全般が揃うお店でした。特に馬刺しや馬刺しの燻製が有名とか。2Fは広い団体用の食事処となっており、松茸ご飯と牛肉のすき焼き食べ放題がメイン。

『松茸含むきのこ、野菜、牛肉、卵、松茸ご飯』のお替りは自由とスタッフの説明を受け、セルフサービスながら、何回も通ってしまう。火を使っているせいか、会話は少な目。食欲旺盛に時間を取られ、出発時間が迫る中、デザートもそこそこに1Fのお土産売り場へ。

お腹パンパンと重くなったバスは次の観光地「臥龍公園」へ。



信州馬さしの里「ビアンデ信州中野店」にて『これから食べ放題が始まるぞお〜』



## 【臥竜公園】

臥竜公園(がりゅうこうえん)は、長野県須坂市臥竜にある公園で、龍が臥しているように見える臥竜山の美しい松は竜ヶ池に映え、『日本の名松 100 選』にも選定され、臥竜公園のソメイヨシノなど約600本の桜並木は『さくら名所 100 選』に選ばれている。

公園の設計者は、明治神宮や日比谷公園、小諸懐古園などを設計した日本初の林学博士 本多静六氏による昭和6年の築造。園内には、カピバラのいる動物園も併設し、竜ヶ池周辺の茶店は、風情有る面影を残しており、「黒いおでん」、「団子」は名物となっている。



<信州須坂大菊花展>

穏やかな陽射しを浴び、美しい紅葉の池の周りを散策。せっかくの紅葉なのに、ここでも池の周りを「楓」探し。なかなか見つからない楓にも疲れ、ソフトクリームや冷たい飲み物に舌つつみ。他方、池に掛かる橋の上から鯉のエサまきを楽しむ方も。鯉にやるために買ったエサながら、足(?)の速いアヒルにほとんど取られてしまい、鯉のエサではなくアヒルのエサとなってしまった。お店によっては、賢く「鯉とアヒルのエサ」として売られていた。

## 【紅葉(モミジ)と楓(カエデ)の違いは?】(ちょっと横道、うんちく)

植物分類上ではカエデとモミジの区別はせず、植物学的にはモミジもカエデも「カエデ」といい、どちらも分類上カエデ科のカエデ属の植物である

なお、園芸上や盆栽の世界では、葉の切れこみ数、切れこみ具合によって明確に区別している。イロハモミジ、ヤマモミジ、オオモミジなど葉が5つ以上に切れ込んで掌状のものをモミジと呼び、それ以外のトウカエデ(切れ込みが3つのもの)などをカエデと呼んでいる。カエデの語源は「蛙の手→かえるで」から転じたという説が一般的。カエデの中でも赤ちゃんの手のようなイロハモミジの仲間を人の手を広げた形の葉を代表して「モミジ」と区別して呼んでいる。

「紅葉(コウヨウ)」という場合は、秋に野山の木々(落葉樹)が冬に備えて落葉する前に紅や黄色に葉の色が変わること、変わった状態を総称している。



## 【信州リンゴ狩り】

さて、次は本旅行のメインイベント「信州リンゴ狩り」です。会場である中野のりんご園へ。りんご狩りのルールの説明を受け、食べたりんご5種類を狩って、農園のおばさんから切ってもら

い皆でシェアして食べる(ひとりで5個も食べられないからだ)。こうして種々なりんごを試食した後、狩ったりんごを入れる網かご(1,000円と1,500円の2種類)を買い、目一杯に詰めるのだ。無理して網かごを延ばそうとしても切れるだけ(欲張っても無駄なことが分かった～良くできている)。

りんごの大きさによるが、1,000円で8個、1,500円で10個程度入るが、中には10～12個と巧みに詰める方も。予定時間経過後、カゴから溢れるりんごが落ちないように手で押さえ、売店で手提げ袋に入れてもらう。これでも重いのに、更にお土産として3個のりんごまでいただいた(重～い)。



### 【長野県りんご】

りんごには「1日1個のりんごは医者いらず」といわれるほど栄養価があり、食物の消化、吸収、燃焼を助けるカリウム、ペクチン、りんご酸、ビタミンを多く含んでいる。また、りんごの皮はポリフェノールが豊富に含まれ、皮ごと食べてほしい果物の一つ。

長野県は青森県に次ぐ全国2位のりんごの産地で全国の約20%を生産している。中野市は、降水量が少なく、昼夜の温度差が大きいため濃厚な味を生み、果樹栽培の適地です。志賀高原の自然がもたらす豊潤な水と太陽を存分に浴びて育ったりんごです。

ふじの無袋栽培が大半を占め、食味重視のりんごを生産しているが、ふじ一辺倒の栽培から(※)『りんご三兄弟』(全国農業組合連合会の登録商標)の「秋映(あきばえ)」「シナノスイート」「シナノゴールド」に切り替えている。

※長野県生まれのオリジナルりんご(秋映・シナノスイート・シナノゴールド)は「しなのりんご3兄弟」と呼ばれ紹介されている。



長野県りんご品種	特徴
秋映(あきばえ)	中野市の小田切氏が、千秋とつがるを交配育種したもの。甘味と酸味のバランスが良く、濃厚な味が特徴で完熟すると濃紅色に着色する。
シナノスイート	長野県のオリジナル品種。「ふじ」と「つがる」の交配種で鮮やかな赤色に着色する。果汁タップリで甘みが強く、酸味が少ない。名前の通りスイートなりんごでふじの味に似ているため、食べやすいと人気がある。
シナノゴールド	長野県生まれ。ゴールデンデリシャスと千秋の交配で、濃い黄色に着色する。パリッとした歯ごたえが特徴。果汁タップリで酸味と糖度のバランスが良く食味が濃厚。
ぐんま名月(めいげつ)	黄色いりんごで果汁が多く蜜入。とても甘味が強く、糖度は15度程度で食味も良好な品種。
サンふじ(ふじ)	日本のりんごを代表する「ふじ」の美味しさをもっと引き出すために、袋をかけずに太陽の光をたっぷり浴びて育てる。おいしい「サンふじ」は、お尻の窪んだ部分を見て青みがなくハチミツ色なら完熟している。「国光」と「デリシャス」の交配種であり甘酸適和で風味もある大人気品種。
王林	ゴールデンデリシャスと印度の交配で緑黄色のりんご。独特の香りと甘味が強く、黄色いりんごの代表品種として根強いファンに愛されている。
ジョナゴールド	長野県のオリジナル3大品種、ゴールデンデリシャスと紅玉の交配品種。果皮に縞があり、甘くてやや酸味がある。紅玉の形質を受け継ぎ、適度な酸味を好む方に喜ばれている。
あかぎ	ゴールデンデリシャスの自然交雑実生(実生とは種から育てた樹)により選抜された品種。甘味が強く、酸味が少ない。

### お腹のりんごとカゴのりんごで重くなったバスは、帰路へ

りんご狩りの充実感、達成感に満たされ、そしてバスに揺られれば夢へ誘われるのが常。しかし、気配り上手なガイドさんの誘いに乗ってしまい「ビリギャル」(DVD)を見ることになった。見るに従い眠い眼が徐々に冴えてくる面白さ。休憩や途中降車の「一時停止」がもどかしい。

最後まで見られない降車の皆さん、残念でしょうが、続きは葛屋で…と無情な中、皆さんの拍手に送られ下車。それに応えて見送りのお返し。正に「一期一会」でしょうか。

混み合う観光地や渋滞もなく、のんびり、ゆっくりと日が短くなった一日を楽しく過ごさせていただきました。参加いただいた会員の皆さんお疲れ様でした。

次回は、第3班(金子班長)幹事の「春の旅行」を楽しみにしています。

その前に、総会兼新年会が開催されますので、大勢の皆さまのご参加をお待ち致しております。

それまで、皆さんご機嫌よう ♡ (^\_^)~。

以上